

今年も夏場は記録的な猛暑となりました。

そんな高温の中で植え付けが始まるトマトやミニトマトは、定植からいつ頃に、どれだけ収穫できるかが気になる所だと思います。今回は、研究農場で今年の7月末に定植した大玉トマトの早生性、ミニトマトの高温着果率が良かった品種を、ご紹介させていただきます！

【耕種概要】※ミニトマト、大玉トマト共通

定植日:7月29日 72穴セル苗(実生) ココバッグ栽培 TF濃縮とまとS使用

※あくまでもトヨタネ研究農場での栽培状況となります。

大玉トマト【早生性 トップ3】

※2024年9月末時点 5株平均

花房1段目までの展開葉枚数が少ない上位3品種

No.1 ① 愛夏(あいか・MST-1323) (株)武蔵野種苗園

【品種特性】 耐裂果性に優れ、果ぞろいが良く、秀品率の高い品種

【研究農場メモ】 花数は少な目の品種。玉肥大が良いとのことで、収量性に期待。

No.2 ② AHK-195 愛三種苗(株)

【品種特性】 高温着果性が高く、裂果の少ない硬玉品種、樹勢については中程度。

【研究農場メモ】 着果性もよく、玉伸びする品種。尻ぐされが出るので、初期の灌水管理が重要。

No.3 ③ MST-1331 (株)武蔵野種苗園

【品種特性】 高温期においても食味に優れ、生理障害果が少なく、秀品率が高い品種。

【研究農場メモ】 大玉トマトハウス内で一番着果率No.1。夏に強い品種といえると思います。

ミニトマト【高温着果性 トップ3】

※2024年9月末時点 5株平均

花房3段目までの平均着果率が高い上位3品種

No.1 ① サンチェリーライズ(TSX-201) トキタ種苗(株)

【品種特性】 収量性、着果性、耐裂果性に優れ、生育初期から樹勢が維持できる。

【研究農場メモ】 花数は少ないが、高確率で着果し、高温でも樹勢が強くて安心感あり。

No.2 ② TYベにすずめ 園芸植物育種研究所

【品種特性】 黄化葉巻耐病性の単為結果品種。短節間で早生性に優れる。

【研究農場メモ】 比較品種の中で最も早く開花、収穫できたが、草勢維持の管理が特に必要。

No.3 ③ アマイアリー ライク・ズワーン社

【品種特性】 花数は少なめだが、食味が良く、玉のびが良好。

【研究農場メモ】 早生性があり、花数少なめでも着果率が良く、初期からしっかり糖度が乗る。